

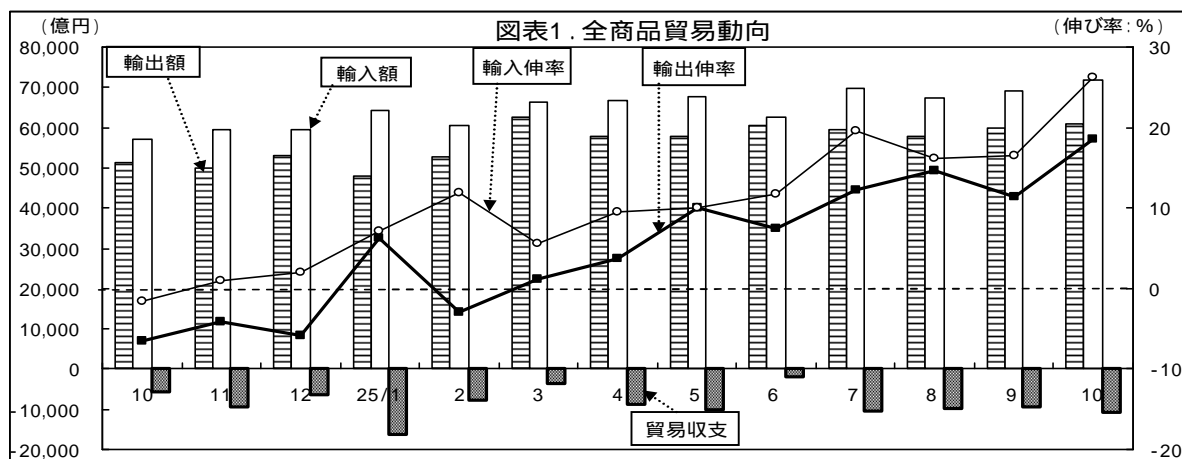
最近の機械貿易動向(10月)～機械輸出、3ヶ月連続二桁増で実質的伸びもプラス～

日本機械輸出組合 2013.12.20.

平成25年10月の機械輸出額は3兆9,107億円、対前年同月比17.5%増と6ヶ月連続でプラスとなった。これは、円安によって円建て輸出額が増加したこと、米欧を中心に全ての地域向けでプラスになったこと、機械輸出額の約36%を占める自動車の伸びが26.9%増となったことに加え、産業機械等が二桁増になったことなどによる。為替・営業日が15.4%の増加要因であったことを考慮すると、実質的な伸び率は2.3%増とプラスとなった。11月も円安が続き、営業日が前年より1日少ないため、合計9.3%の増加要因となる。仮に10月の機械輸出額の実質的伸び(2.3%増)が続くとすれば、前年比11.6%増と予想されたが、12月18日発表の貿易統計速報を基にした簡易計算では11月の機械輸出は18.7%増であった。

1. 全商品貿易動向～輸出は4ヶ月連続で二桁増、貿易収支は16ヶ月連続で赤字～

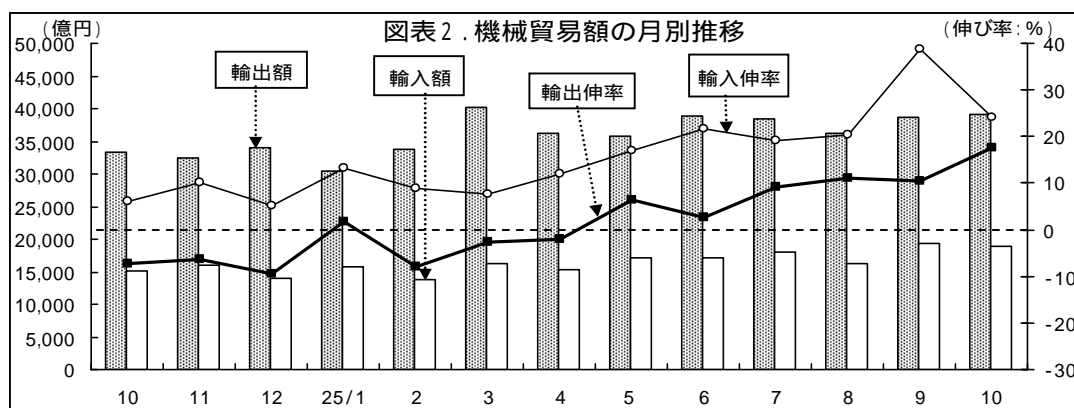
- 平成25年10月の全商品輸出額は6兆1,044億円、前年同月比(以下同じ)18.6%増と8ヶ月連続でプラスとなった(9月11.5%増)。これは円高是正による輸出額の拡大と全輸出額の約24%を占める自動車・同部品等輸送用機器(24.0%増)、約11%を占める化学製品(19.6%増)等の増加が寄与した。
- 輸入額は7兆1,970億円、26.2%増と12ヶ月連続のプラスとなった(9月16.5%増)。これは、円高是正効果に加え、全輸入額の約32%を占める原油油等鉱物性燃料(45.9%増)、約14%を占める電子部品等電気機器(27.9%増)等が増加したためである。
- この結果、輸出額から輸入額を差し引いた貿易収支は1兆927億円の赤字で、昨年7月以降16ヶ月連続で、10月としては1979年以来最大の赤字となった。



2. 機械貿易動向

(1) 機械輸出入動向～機械輸出6ヶ月連続、輸入は14ヶ月連続で増加～

- 全商品輸出額の約64%を占める10月の機械輸出額は3兆9,107億円、17.5%増と3ヶ月連続で10%以上の伸びとなった(9月10.3%増)。しかし、輸出額の水準は、リーマンショック前(平成19年10月)と比べると75.9%となり、前月よりやや後退した(9月76.8%)。
- 一方、全商品輸入額の26%を占める機械輸入額は、1兆8,838億円、24.0%増と14ヶ月連続の増加で、ここ3ヶ月は20%を超える高い水準となっている(9月38.8%増)。また、輸入額の水準は、リーマンショック以前の106.3%と7ヶ月連続して上回っている(9月125.5%)。

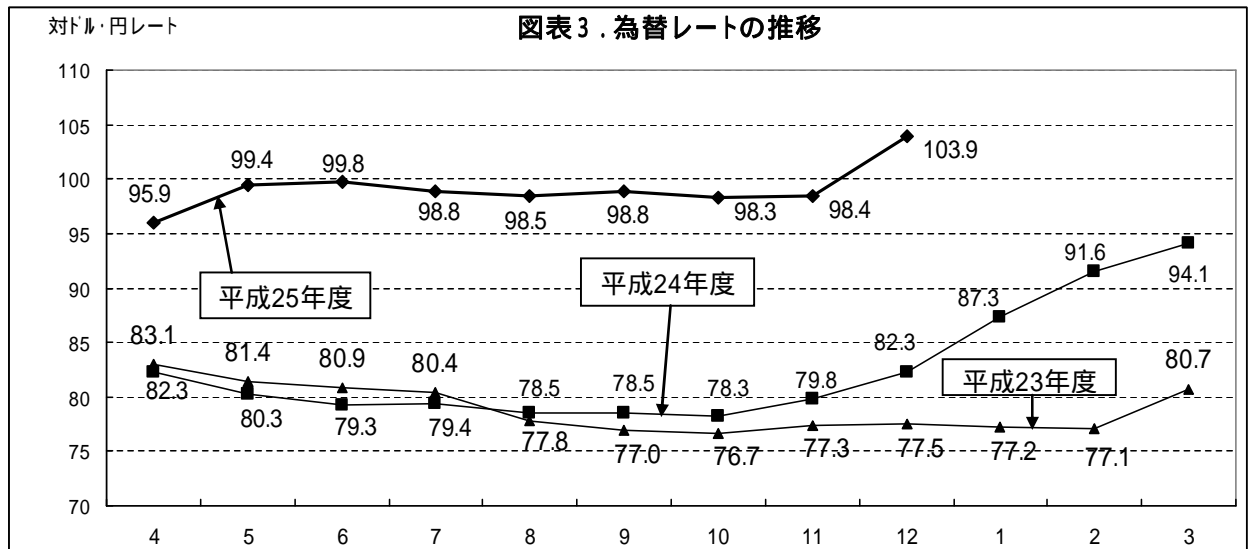


(2) 為替動向・営業日～10月は15.4%の大幅増加要因、11月は9.3%の増加要因～

1) 10月は1ドル=98.3円と円高是正が続き、前年に比べ25.5%の円安となった。また、対ユーロも133.3円と前年に対して30.9%と円安が進展し、合わせて約15.4%の為替増加要因となった。営業日は前年と同じため、合計15.4%の増加要因となる。10月の輸出額は17.5%増であったことから、実質的伸び率は2.1%増とプラスとなった(9月5.4%減)。

2) 11月は1ドル=98.4円と円高是正傾向が続き、前年に比べ23.3%の円安となった。また、対ユーロでは133.8円で前年に対し30.2%の円安となり、合わせて約14.1%の為替増加要因となった。営業日は前年に比べて1日少ないため4.8%の減少要因となり、合計9.3%の増加要因となる。

3) 12月は、対ドルが12月19日17:00時点の103.9円とすれば、前年に比べて26.2%の円安、また、対ユーロも142.3円と33.5%の円安となり、合わせると約15.9%の為替増加要因となる。営業日は前年と同じため、合計15.9%の増加要因となる。



(3) 地域別動向～北米、EU、中国、その他地域向けが二桁増、4ヶ月連続で全地域向けがプラス～

1) 機械輸出額の地域的動きをみると、機械輸出額の11.5%を占めるEU向けは、全体の約32%を占める自動車(27.5%増)をはじめ、18%の産業機械(22.2%増)、重電機機械(33.9%増)、建設機械(66.3%増)等が大幅にプラスとなり、25.1%増と5ヶ月連続でプラス。17.1%を占める中国向けでは、自動車(101.6%増)、半導体製造装置等産業機械(22.5%増)等が大きく伸び、24.1%増となった。24.9%を占める北米向けでは、全体の約53%を占める自動車(32.4%増)、重電機機械(25.5%増)が増加、23.6%増となった。19.7%を占めるその他地域向けは、インド(16.1%減)がマイナスとなったものの、ロシア東欧等(29.9%増)、中南米(19.4%増)、中近東(19.2%増)が大幅増となり、機種では、全体の約60%を占める自動車(20.7%増)、重電機機械(30.7%増)等が大幅にプラスとなって15.0%増となった。26.8%と最大輸出先のNIES/ASEAN向けでは、韓国(29.5%増)が6ヶ月連続、ベトナム(39.5%増)が3ヶ月連続、香港(12.8%増)が2ヶ月連続で二桁増加となり、業種では、自動車(0.3%減)が微減となったものの、産業機械(19.5%増)、電子デバイス(8.7%増)等が大幅増となって7.9%増となった。

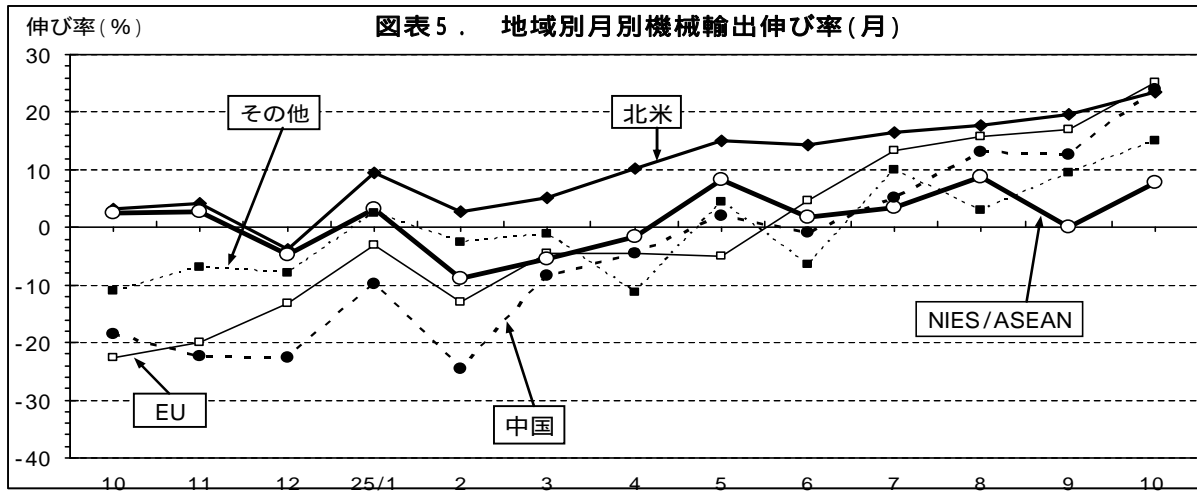
2) また、リーマンショック前の平成19年10月の地域別輸出額と比較すると、中国(99%)をはじめ、NIES/ASEAN(83%)、北米(80%)、その他地域(67%)、EU(52%)といずれも水準以下であった。

図表4. 最近の地域別機械輸出動向

(単位: 億円)

	2013/8			2013/9			2013/10			対07年10月比
	金額	伸び率	シェア	金額	伸び率	シェア	金額	伸び率	シェア	
全世界計	36,325	11.2	100	38,578	10.3	100	39,107	17.5	100	0.76
北米	8,803	17.7	24.2	9,376	19.6	24.3	9,736	23.6	24.9	0.80
EU	3,886	15.9	10.7	4,547	16.9	11.8	4,490	25.1	11.5	0.52
NIES/ASEAN	10,294	8.7	28.3	10,279	0.1	26.6	10,487	7.9	26.8	0.83
中国	6,641	13.2	18.3	6,463	12.7	16.8	6,704	24.1	17.1	0.99
その他	6,702	2.9	18.4	7,914	9.4	20.5	7,690	15.0	19.7	0.67

は、2ヶ月連続で前年比10%以上プラス。



図表6. NIES/ASEAN・その他地域向け機械輸出の推移(月別) (金額単位: 億円)

国名	2013/7		2013/8		2013/9		2013/10	
	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率
韓国	1,939	23.6	1,974	32.3	1,939	18.6	2,048	29.5
台湾	1,560	0.6	1,564	2.5	1,504	6.2	1,549	1.0
香港	1,601	11.8	1,593	9.8	1,648	10.5	1,622	12.8
タイ	1,895	1.0	1,770	0.8	1,721	14.2	1,710	12.5
シンガポール	807	0.7	848	14.1	830	4.7	808	17.5
インドネシア	752	12.5	893	9.4	877	5.3	881	9.4
マレーシア	660	7.7	629	10.0	703	8.2	774	0.0
フィリピン	528	6.6	506	1.5	532	4.5	534	5.3
ベトナム	423	7.3	423	19.2	429	15.6	455	39.5
その他地域								
中南米	2,931	24.6	1,840	10.0	2,422	10.7	2,459	19.4
中近東	1,633	15.6	1,430	16.2	1,753	21.5	1,755	19.2
大洋州	1,172	7.7	1,137	8.8	1,155	8.9	1,103	8.0
ロシア東欧等	1,253	5.5	1,160	2.6	1,310	20.6	1,410	29.9
アフリカ	716	1.1	642	20.9	801	9.8	602	5.4
インド	389	13.9	365	13.0	394	4.2	337	16.1

は、2ヶ月連続で前年同月比プラス(10%以上)

- (4) 業種別動向 ~ 19 業種中 1 業種がマイナス、自動車は 7 ヶ月連続、産業機械は 6 ヶ月連続プラス ~
- 業種別では、全 19 業種中 1 業種がマイナスで、前月に比べ 5 業種減少した。全体の約 36%を占める自動車(26.9%増)が 7 ヶ月連続、約 16%の産業機械(16.3%増)が 6 ヶ月連続でプラスとなったほか、繊維機械が 9 ヶ月連続、電子計算機が 5 ヶ月連続、通信機械も 3 ヶ月連続で二桁増となった。
 - この結果、リーマンショック前の水準を超えたのは医療機械、ベアリング、光学機械の 3 業種で、電子計算機は 30%台、民生用電子機械は 40%台、通信機械、産業車両は 50%台の低い水準に留まっている。

図表7 上位19業種の輸出額の動き

(単位: 億円、%)

機種名	2013/8			機種名	2013/9			機種名	2013/10			対07/10比
	金額	伸び率	シェア		金額	伸び率	シェア		金額	伸び率	シェア	
自動車	12,141	18.4	33.4	自動車	13,946	22.1	36.2	自動車	14,241	26.9	36.4	0.77
産業機械	6,424	10.7	17.7	産業機械	6,196	12.2	16.1	産業機械	6,325	16.3	16.2	0.88
電子デバイス	3,203	13.2	8.8	電子デバイス	3,052	1.3	7.9	電子デバイス	3,109	9.6	8.0	0.67
軽電気機械	1,959	8.8	5.4	軽電気機械	2,039	5.3	5.3	重電気機械	2,041	20.0	5.2	0.93
重電気機械	1,860	9.7	5.1	重電気機械	1,850	4.1	4.8	軽電気機械	2,023	13.7	5.2	0.77
民生用電子機械	1,696	2.6	4.7	民生用電子機械	1,786	1.0	4.6	民生用電子機械	1,781	6.1	4.6	0.42
光学機械	1,447	10.4	4.0	軽機械	1,418	5.6	3.7	軽機械	1,461	17.7	3.7	0.81
軽機械	1,416	11.0	3.9	光学機械	1,397	1.3	3.6	光学機械	1,388	0.7	3.5	1.03
船舶	891	20.2	2.5	船舶	1,309	13.7	3.4	船舶	1,285	9.4	3.3	0.69
建設機械	827	12.5	2.3	建設機械	955	7.0	2.5	建設機械	892	15.6	2.3	0.66
工作機械	745	19.8	2.1	工作機械	715	15.5	1.9	工作機械	662	21.6	1.7	0.75
通信機械	485	32.9	1.3	通信機械	635	44.6	1.6	通信機械	576	48.6	1.5	0.57
電子計算機	470	29.9	1.3	電子計算機	520	29.9	1.3	電子計算機	440	16.9	1.1	0.33
ベアリング	364	9.8	1.0	医療機械	399	4.0	1.0	ベアリング	390	16.9	1.0	1.09
医療機械	352	29.5	1.0	ベアリング	368	5.7	1.0	医療機械	358	18.1	0.9	1.41
陸用内燃機関	326	6.0	0.9	陸用内燃機関	336	3.0	0.9	陸用内燃機関	354	10.0	0.9	0.85
繊維機械	194	42.1	0.5	繊維機械	211	34.1	0.5	繊維機械	228	31.0	0.6	0.82
農業機械	150	20.5	0.4	農業機械	155	2.1	0.4	農業機械	165	14.4	0.4	0.86
産業車両	107	1.0	0.3	産業車両	120	6.6	0.3	産業車両	132	3.0	0.3	0.59
19業種合計	35,057		96.5	19業種合計	37,407		97.0	19業種合計	37,850		96.8	0.75

は2ヶ月以上連続で10%以上増加。・民生用電子機械: デジカメ、TV、部品。電子計算機: ハリコ、HDD、プリンタ等部品。軽電気機械: 白物家電、電子計測器。軽機械: 分析器。光学機械: 光学材料、カメラ。

(5) 機種別動向～原動力機械、半導体製造装置等が大幅増加、工作機械は大幅減～

- 1) 10月で10%以上の伸び率を示した機種は、NIES/ASEAN向け**原動力機械**(51.0%増)、NIES/ASEAN向け**半導体製造装置**(50.6%増)、中国、NIES/ASEAN向け**通信機械**(44.6%増)、NIES/ASEAN向け**運搬機械**(42.5%増)、北米、その他地域向け**乗用車**(34.9%増)、中国向け**繊維機械**(31.0%増)、NIES/ASEAN、中国向け**電池**(27.9%増)、NIES/ASEAN、中国向け**バルブ・コック**(25.9%増)、中国、北米向け**産業用ロボット**(23.9%増)、北米向け**TV**(22.6%増)であった。
- 2) 一方、最も落込み幅が大きいのが、**工作機械**(21.6%減)、**エアコン**(18.4%減)、**金属加工機械**(16.5%減)であった。

図表8. 伸び率上位機種(月50億円以上、前年比伸び率10%以上、10機種以内) (単位:億円)

2013/8			2013/9			2013/10		
機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率
繊維機械	194	42.1	通信機械	635	44.6	原動力機械	545	51.0
原動力機械	539	36.2	繊維機械	211	34.1	半導体製造装置	960	50.6
通信機械	485	32.9	乗用車	8,199	33.9	通信機械	576	48.6
電子計算機	470	29.9	風水力機械	739	30.9	運搬機械	266	42.5
医療機械	352	29.5	電子計算機	520	29.9	乗用車	8,332	34.9
乗用車	6,818	23.4	原動力機械	501	29.5	繊維機械	228	31.0
産業用ロボット	100	23.2	電池	221	27.1	電池	227	27.9
TV	84	22.1	運搬機械	236	18.9	バルブ・コック	387	25.9
農業機械	150	20.5	半導体製造装置	941	16.8	産業用ロボット	119	23.9
バルブ・コック	371	18.4	産業用ロボット	110	15.9	TV	94	22.6
機種合計	9,563	26.3%	機種合計	12,313	31.9%	機種合計	11,734	30.0%

は、2ヶ月連続で上位機種・機種合計の%は輸出額に占める割合

図表9. マイナス伸び率上位機種(月3億円以上、10%減以上、10機種以内) (単位:億円)

2013/8			2013/9			2013/10		
機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率
発電機	91	25.3	発電機	91	25.7	工作機械	662	21.6
船舶	891	20.2	デジカメ・ビデオ	565	21.5	エアコン	8	18.4
工作機械	745	19.8	工作機械	715	15.5	金属加工機械	313	16.5
電子応用装置	40	17.1	時計	96	14.7	機種合計	983	2.5%
金属加工機械	302	16.0	船舶	1,309	13.7			
デジカメ・ビデオ	552	12.7	機種合計	2,776	7.2%			
建設機械	827	12.5						
機種合計	3,448	9.5%						

は、2ヶ月連続でマイナス上位10位内

(6) 機械輸入動向～電子デバイス、電子計算機、携帯電話が大幅増、航空機類が減少～

- 1) 10月の機械輸入伸び率は24.0%増と14ヶ月連続でプラスとなり、円高是正効果と国内需要増を反映して高い伸びとなった。これは、最大輸入機種の電子デバイス(51.5%増)に加え、電子計算機(10.8%増)、携帯電話(30.8%増)、自動車部品(42.6%増)、乗用車(24.7%増)、白物家電(22.0%増)、医療機械(25.2%増)、民生用電子部品(23.5%増)、光学機械(12.5%増)、分析・試験・検査機(21.2%増)の二桁以上の増加が寄与したためである。他方、減少したのは航空機類(18.7%減)等であった。
- 2) なお、輸入額が輸出額を上回っている機種は電子計算機、携帯電話、白物家電、医療機械、時計、TV、ラジオ、録画・再生機器となっている。
- 3) 地域別機械輸入額は、全体の42%を占める中国(22.9%増)、韓国・台湾(30.4%増)、EU(25.4%増)、ASEAN(27.2%増)、北米(24.4%増)の順となっている。

図表10. 機械輸入額上位12機種 (単位:億円、%)

2013/8				2013/9				2013/10			
機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア
電子デバイス	2,149	44.9	13.2	携帯電話	2,571	101.5	13.3	電子デバイス	2,319	51.5	12.3
電子計算機	1,599	12.8	9.8	電子デバイス	2,377	58.8	12.3	電子計算機	2,019	10.8	10.7
乗用車	881	1.4	5.4	電子計算機	1,814	28.5	9.4	携帯電話	1,714	30.8	9.1
自動車部品	864	31.7	5.3	自動車部品	967	46.1	5.0	自動車部品	1,023	42.6	5.4
携帯電話	700	10.4	4.3	乗用車	834	22.8	4.3	乗用車	915	24.7	4.9
航空機類	630	40.2	3.9	航空機類	696	22.1	3.6	白物家電	642	22.0	3.4
白物家電	613	22.1	3.8	白物家電	598	30.2	3.1	医療機械	634	25.2	3.4
医療機械	546	12.1	3.4	医療機械	565	22.9	2.9	民生用電子部品	403	23.5	2.1
民生用電子部品	363	21.7	2.2	分析・試験・検査機	425	51.4	2.2	光学機械	398	12.5	2.1
分析・試験・検査機	320	26.4	2.0	民生用電子部品	358	33.0	1.9	分析・試験・検査機	341	21.2	1.8
光学機械	309	10.7	1.9	光学機械	346	0.0	1.8	航空機類	312	18.7	1.7
風水力機械	261	26.9	1.6	時計	280	42.8	1.4	時計	301	8.0	1.6
12機種合計	9,235		56.8	12機種合計	11,831		61.2	12機種合計	11,021		58.5

は対前年比が2ヶ月連続で10%以上増加。白物家電:民生用電気機械